

## 新 旧 対 照 表

現 行	変 更 後
<p><b>【特区計画（本体）】</b></p> <p>1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称 【略】</p> <p>2 構造改革特別区域の名称 【略】</p> <p>3 構造改革特別区域の範囲 【略】</p> <p>4 構造改革特別区域の特性 【略】</p> <p>5 構造改革特別区域計画の意義 【略】</p> <p>6 構造改革特別区域計画の目標 【略】</p> <p>7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果 【略】</p> <p>8 特定事業の名称 【略】</p> <p>9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項 【略】</p> <p><b>【特区計画（別紙）】</b></p> <p>1 特定事業の名称 【略】</p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 【略】</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)・(2) 【略】</p> <p>3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 【略】</p> <p>4 特定事業の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)～(3) 【略】</p> <p style="padding-left: 20px;">(4)民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目</p> <p style="padding-left: 40px;">資格名称：情報処理技術者能力認定試験（2級）</p>	<p><b>【特区計画（本体）】</b></p> <p>1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称 【略】</p> <p>2 構造改革特別区域の名称 【略】</p> <p>3 構造改革特別区域の範囲 【略】</p> <p>4 構造改革特別区域の特性 【略】</p> <p>5 構造改革特別区域計画の意義 【略】</p> <p>6 構造改革特別区域計画の目標 【略】</p> <p>7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果 【略】</p> <p>8 特定事業の名称 【略】</p> <p>9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項 【略】</p> <p><b>【特区計画（別紙）】</b></p> <p>1 特定事業の名称 【略】</p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 【略】</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)・(2) 【略】</p> <p>3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 【略】</p> <p>4 特定事業の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)～(3) 【略】</p> <p style="padding-left: 20px;">(4)民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目</p> <p style="padding-left: 40px;">資格名称：情報処理技術者能力認定試験（2級）</p>

試験科目：情報処理技術者能力認定試験（2級第1部）  
 当該民間資格を取得するための試験の試験項目

サーティファイ（情報処理技術者能力認定試験）試験項目		2級
1 情報の基礎理論		
基礎変換、データ表現、演算と精度、理論演算、符号理論		○
状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語		○
計算量と情報量		○
2 データ情報とアルゴリズム		
データ構造、アルゴリズムの基礎		○
流れ図、決定表、BN記法、ポーランド記法		○
各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率		○
3 ハードウェア		
半導体と集積回路		○
プロセッサ、動作原理		○
メモリ、記憶媒体、補助記憶装置		○
入出力インタフェース、入出力装置、接続形態・接続媒体		○
コンピュータの種類と特徴		○
4 基本ソフトウェア		
OSの種類と構成		○
プロセス管理、割込み制御		○
主記憶管理、仮想記憶		○
入出力制御、ジョブ管理		○
ファイル管理、障害管理		○
ヒューマンインタフェース、日本語処理		○
ミドルウェア		○
5 システム構成と方式		
システム構成方式、処理形態		○
システム性能、信頼性		○
応用システム		○
6 システム開発と運用		
プログラム構造、制御構造		○
プログラム言語、言語処理系		○
EUC、EUD、ソフトウェアの利用		○

試験科目：情報処理技術者能力認定試験（2級第1部）  
 当該民間資格を取得するための試験の試験項目：下表のとおり

出題内容	
テクノロジ系	1 基礎理論
	1 基礎理論
	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など
	確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など
	符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など
	伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）
	2 アルゴリズムとプログラミング
	データ構造（スタックとキュー、2分木、リストなど）
	流れ図の理解、アルゴリズム（整列、探索、併合など）
	プログラム構造、データ型など
	プログラム言語（種類と特徴など）
	2 コンピュータシステム
	3 コンピュータ構成要素
	コンピュータの構成、動作原理、プロセッサなど
	主記憶、キャッシュメモリ、半導体メモリなど
	補助記憶装置や媒体（種類と特徴、性能計算など）
	入出力インタフェース（種類と特徴など）
	入出力装置（種類と特徴、性能計算など）
	4 システム構成要素
	システムの利用形態、システム構成など
クライアントサーバシステム、RAIDなど	
システムの性能、信頼性、経済性など	
5 ソフトウェア	
オペレーティングシステム（タスク管理、記憶管理など）	
ミドルウェア（API、ライブラリ、シェルなど）	
ファイルシステム（ディレクトリ、ファイル編成など）	
言語処理ツール（コンパイラ、リンカ、ローダなど）	
CASE、エミュレータ、シミュレータなど	
6 ハードウェア	
基本論理回路、組合せ回路など	
3 技術要素	



管理会計（損益分岐点、原価管理など）	
IE分析手法、管理図	○
確率と統計	○
最適化問題、意志決定理論	○
情報システムの活用（ビジネスシステム、企業間システムなど）	○
関連法規（情報通信、知的財産権）	○
関連法規（労働、取引、安全、法律、倫理など）	
12 表現能力	
発表技術	
文章の書き方	
マルチメディアの利用	

5 当該規制の特例措置の内容 【略】

		ITIL（サービスサポート、サービスデリバリーなど） コンピュータの運用・管理、シコンシステム移行など
ストラテジ系	7 システム戦略	
	17 システム戦略	業務プロセス（業務改善、BPR、SFAなど）
	8 経営戦略	
	19 経営戦略マネジメント	経営戦略手法（コアコンピタンス、PPMなど） マーケティング理論、マーケティング手法など 経営管理システム（CRM、SCM、ERPなど）
	21 ビジネスインダストリ	ビジネスシステム（POSシステム、EOSなど） エンジニアリングシステム（CAD、CAM、MRPなど） e-ビジネス（EC、EDI、RFIDなど）
	9 企業と法務	
	22 企業活動	経営組織（事業部制組織、CIOなど） ヒューマンリソース（OJT、CDP、MBOなど） 経営管理と問題発見技法（PDCA、KJ法など） OR・IE（線形計画法、品質管理、在庫問題など） 会計・財務（財務会計、管理会計、リースなど）
	23 法務	知的財産権（著作権、産業財産権など） ガイドライン（ソフトウェア管理ガイドラインなど） 標準化団体（JIS、ISO、IEEEなど） 各種コード（文字コード、QRコード、ISBNコードなど） 補助単位（T、G、M、k、ミリ、マイクロ、ナノ、ピコ）

5 当該規制の特例措置の内容 【略】